

2022年度日の出町「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」 にご回答された皆さまへ

2022年9月、日の出町と東京大学は「高齢者にやさしい地域づくりに係る覚書」を締結しました。この覚書に基づき、日の出町内の自治会、学校、医療・介護事業所等の皆さまとともに、「認知症になっても大丈夫」と思えるようなまちづくりのための取組みを進めています。

今回、日の出町にお住まいの皆さまの考え方や日々の生活がどのように変化したのかを分析することで、一連の取り組みの評価や改善につなげたいと考えております。自治体と大学が協働して「高齢者にやさしい地域づくり」を進める事例は世界的にも希少であり、皆さまがご回答された「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果を分析することは日の出町での取組みを世界に発信するためにも欠かせないものです。

【研究課題名】

「高齢者・認知症にやさしいまちづくりの経時的評価に関する研究」（審査番号2023055NI）

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・高齢者在宅長期ケア看護学分野

研究責任者 五十嵐 歩・准教授

担当業務 データ収集・データ解析

【研究期間】 2023年6月22日 ～ 2028年03月31日

【研究協力機関】

日の出町

この研究に利用する資料・情報は研究機関及び研究協力機関の範囲のみで利用されます。

【対象となる方】

2023年2月に実施された「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」に回答された方

【研究の方法】

本研究では日の出町が実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」で収集されたデータを日の出町から提供を受け、日の出町の高齢者の生活状況・健康状態や認知症に関する考え方などについて分析します。さらに将来、日の出町で実施される同様の調査や、他の自治体で実施された同様の調査の結果と比較することで、日の出町の住民の皆さまへの影響や変化を明らかにします。

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。なお、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

【個人情報の取り扱い】

この研究で扱うデータは外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。データ提供を受ける方法としては、日の出町で所定の手続きを経て、回答した方を特定できないよう加工したデータを受け取ります。

収集したデータは、研究者のみが使用できるパスワードをデータファイルに設定し、パスワードロックをかけた USB メモリ等に保存します。また USB メモリ等や紙媒体に印刷した資料は鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、報告書、学会発表や学術雑誌、国内及び海外のデータベース等で公表します。

収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、復元不可能なようにデータを破壊処理することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

この研究に関する費用は、日本学術振興会科学研究費補助金から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。尚、研究対象者の皆さんへの謝金はございません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2023年11月

【問い合わせ先】研究責任者 五十嵐歩、連絡担当者 松本博成
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1
東京大学大学院医学系研究科 高齢者在宅長期ケア看護学分野
メール：hiroshige-tky@g.ecc.u-tokyo.ac.jp
Tel: 03-5841-3508（折り返しご連絡させていただきます）